

サイト情報

国内生産事業所

平塚製造所	52
三重工場	53
三島工場	54
新城工場	55
尾道工場	56
茨城工場	57
平塚東工場	58
長野工場	59

本社・国内外関連会社

ヨコハマタイヤ東日本リトレッド(株)	60
山陽リトレッド(株)	60
本社	61
国内グループ会社	61
ヨコハマタイヤ フィリピン INC.	62
杭州横浜輪胎有限公司	63
協機工業股份有限公司	63
ヨコハマラバー (タイランド)カンパニー LTD.	64
YHアメリカ INC.	64
横浜密封材料(杭州)有限公司	64
サスラバーカンパニー	65
ヨコハマタイヤ コーポレーション	65
台湾横濱輪胎股份有限公司	65

PRTR対象物質の管理	66
大気・水質関係測定データ	68
環境データ収集拠点	70

平塚製造所

製造所長：上田 啓吾

生産品目： 航空機用タイヤ、ベルト、ホース、防舷材、その他各種工業品など
敷地面積： 999,000m² (ハマタイト工場、D-PARC、T*MARYを含む)
従業員数： 1,622人
所在地： 〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号
TEL. 0463(35)9501



ハマタイト工場

平塚製造所

平塚製造所はハマタイト工場(平塚市四之宮)を含んだ総称です。

製造所長コメント

横浜ゴムは「企業価値・市場地位において独自の存在感を持つグローバルカンパニー」を目指し、2017年に向けた新中期経営計画「GD100」を策定しました。その基本方針として「良いモノを安くタイムリーに」「トップレベルの環境貢献企業」「高い倫理観を持つ顧客最優先の企業風土作り」の3つを掲げており、特に環境面ではグローバルな環境経営の下、環境貢献商品を提供し、それら商品の生産においても環境に配慮した活動をさらに推進していくことを宣言しています。

平塚製造所は1952年の稼働以来、横浜ゴムの技術開発の中枢としてモノづくり発信基地の役割を担っていますが、今後はこれをさらに加速・拡大し、企業ビジョンの達成に向けた努力を継続していきます。また、この役割をここ平塚の地で進めるため、地域との共生を積極的に進めていきます。現在はコンプライアンスの徹底をベースに、防災・安全レベルの向上、地域貢献、地域とのコミュニケーションの3つの方針の下、環境保全・防災の自主点検と改善活動の展開、地域イベントへの参加や障害者雇用の継続、地域自治会との定期コミュニケーション会の開催など様々な活動に取り組んでいます。2006年度は環境方針に沿った目的・目標に新たに「地域貢献」を挙げました。全従業員が救命救急技能を習得し人命救助できる体制を構築し、防災ボランティアによる地域指導を行うなど、環境貢献先端企業として歩んでいきたいと思っています。

2006年度の主な環境活動計画

- 1 地球温暖化対策として省エネ活動推進によるCO₂発生量の削減
3部門(タイヤ・MB・間接)による省エネ活動の推進
- 2 全従業員による救命救急技能の習得
1,622名全員が人名救助できる体制づくりと従業員以外への拡大
- 3 徹底した地域への貢献
地域防災への支援、盲学校への消火支援体制、こどもサポート、木材チップ供給など。

環境活動に対する表彰履歴

危険物安全管理及び保安施策の推進により「消防長官賞」を受賞(2005年6月6日)

環境リスク訓練

1 緊急時訓練 2 油分離槽漏洩訓練 3 廃液流出時訓練

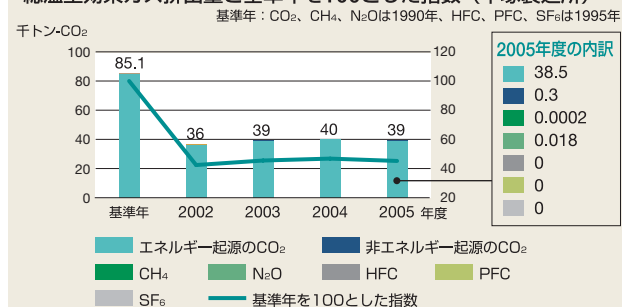
それぞれの訓練を各ブロックで実施

地域交流活動・その他

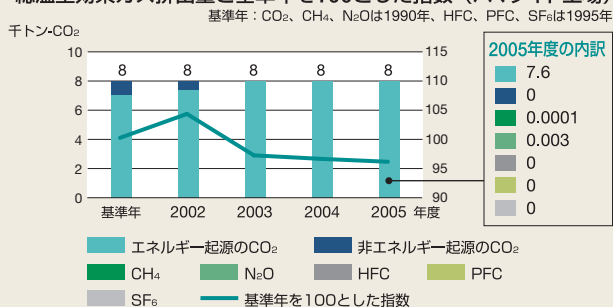
子どもを狙った犯罪の防止に取り組む平塚市・市民安全課の依頼に応え、子どもたちが危険に遭遇したときの「駆け込み場所」として協力しています。認知度向上の第一歩として、地域ボランティアで構成する平塚市地域教育力ネットワーク協議会が作成した「こどもサポート」の看板を正門や金網塀などの目立つ場所に掲示しています。今後、ハマタイト工場、平塚東工場、湘南寮の門扉にも掲示する予定です。



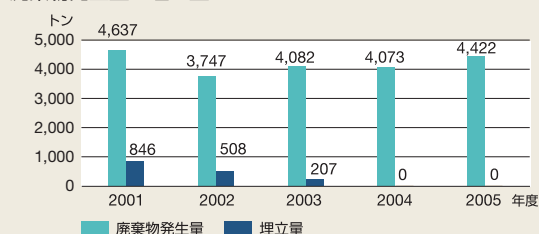
総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数(平塚製造所)



総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数(ハマタイト工場)



廃棄物発生量と埋立量



三重工場

工場長：持永 義登

生産品目：トラックバス用、LT用、乗用車用、産業車両用タイヤ
敷地面積：264,000m²
従業員数：877人
所在地：〒516-8530 三重県伊勢市御園町高向1038番地
TEL. 0596 (28)3151



工場長コメント

三重工場では社長方針である「トップレベルの環境貢献企業を目指す」と工場独自の環境方針をテーマに環境活動を展開しています。騒音・粉塵・臭気など地域に影響を及ぼす環境問題や産業廃棄物の最終処分問題、燃料・電力の使用による地球温暖化問題など生産と環境は密接に関係しています。

2006年度は臭気対策としてY/U乾燥炉に脱臭装置の設置を計画しています。また、昨年6月から継続している廃棄物の埋立てゼロ(完全ゼロエミッション)を維持するとともに、1月に稼動したコージェネレーションによる燃料転換(CO₂の排出量を約20%削減)と省エネ活動の推進で地球温暖化対策にも取り組んでいきます。市町村合併によって大きく変わりつつある周辺環境に対応するため、過去の前例にとらわれずに、これからも環境に配慮した生産活動を進めていきたいと思ひます。地域との共生では、2006年度も工場近隣の自治区を対象とした環境地域懇談会を開催します。住民からの貴重な情報を収集し反映することで、地域との親睦を強化します。また、ボランティア活動として伊勢市内を流れる勢田川流域の清掃活動への参加や工場周辺の清掃活動を積極的に行い、地域への貢献度を高めていきます。

2006年度の主な環境活動計画

- 1 11号ミキサー用カーボン搬送の空送(6月稼動)
- 2 8号触媒蓄熱式脱臭炉の不部分更新(8月工事)
- 3 Y/U乾燥炉の排気口への脱臭用燃焼炉の取り付け(年末工事予定)
- 4 工場東側に防火水槽を2基増設

環境活動に対する表彰履歴

(社)火力原子力発電技術協会から火力原子力発電所の建設保守に対し表彰されました。(2005年10月12日)

地域交流活動・その他

- 定期的な工場周辺の清掃活動に加え、地域住民との側溝清掃や年1回の工場周辺大掃除などを行っています。大掃除には120名が参加しました。
- 苦情のない工場づくりを目指し、地域住民や伊勢市環境課職員との懇談会を1月と3月に実施しました。工場見学や説明会をはじめ、ご意見やご要望などをお聞きする機会として活用しています。



工場周辺大掃除

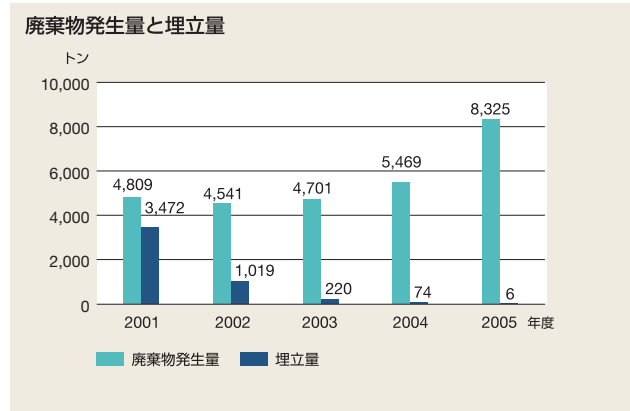
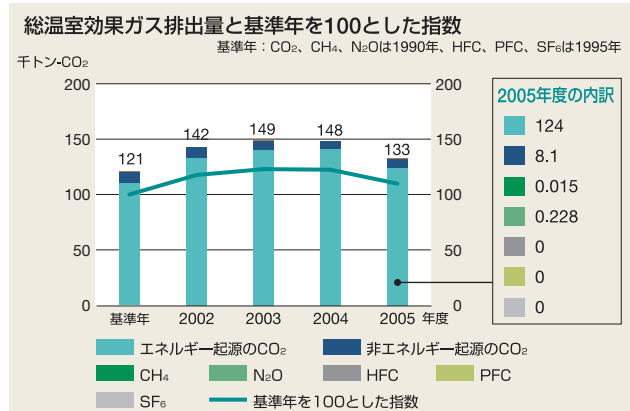


地域懇談会

環境リスク訓練

下表のようにリスク訓練を行いました。

実施部署	訓練内容	参加人数	実施部署	訓練内容	参加人数
製造1課	オイルの流出防止	250	品保課	緊急時の教育テスト	66
製造2課	オイルの流出防止	120	工管課	緊急事態発生時の対応手順	12
	DIP液流出	12	設備課	浮上油ポンプ取り扱い手順	13
	一般火災	12		C重油受入手順	13
	油漏れ	12		バグフィルター異常時の処置手順	13
	W/W火災時の処置	12		重油タンク防油堤からの油漏れ	13
	プラントガス漏れ緊急時の処置	12		重油タンクからの油漏れ	13
	オイルの流出防止	138		合計	724



三島工場

工場長：野地 彦旬

生産品目： 乗用車用、レーシング用、LT用タイヤ
敷地面積： 112,000m²
従業員数： 525人
所在地： 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8番1号
TEL. 055 (975) 0800



工場長コメント

三島工場は今年3月に創業60周年を迎えることができました。2017年に横浜ゴムは創立100年を迎えます。その100周年に向けての新中期経営計画「GD100」が発表されました。その中に環境貢献企業を目指すことが描かれています。三島工場は、世界に、日本に、地域に貢献するため8項目の環境方針をまとめ、目的、目標を明確にした計画を実行しています。

地域貢献としては、市内の小中学生に対して「体験学習受け入れキャンペーン」を行っています。これは実際に工場で数日間体験して頂き、安全、環境教育から工場での実作業を通して、心のこもった「モノづくり」を体験してもらいます。より簡単に、より楽に作業する方法を考えながら行動してもらい、作業が簡単で楽であることは、安全であると同時に省エネに繋がることを実感してもらいます。体験後の感想文からは、学校とは違った観点から安全と環境を見つめ直し、「モノづくり」の達成感も感じてもらえたことと確信しています。また、今年5月に三島市内の全公立小中学校に対して、先生が下校時のパトロールの際に車に搭載する青色回転灯を小池三島市長経由で寄付しました。このように地域のニーズに合った私達のできることを積極的に行っています。

一方、環境負荷低減活動では直行率100%を目指すことを柱に活動しています。直行率とは、生産初期から出荷に至る工程をラインオフすることなくお客様に商品を届けることです。一連の工程の流れと情報の流れを絵に描いていくと流れを乱している場所が分かります。その乱れがムダ、ムラ、ミリの原因となり余計な環境負荷を与えます。直行率100%はこれを徹底的にゼロにする活動です。これらの活動は、年間1,500名を超える工場見学者や体験学習者、地域住民への報告会を通して説明しています。

2006年度の主な環境活動計画

- 1 三島市の中学生生徒に対する工場体験学習(7月現在で受付校は2校)
- 2 地域住民への環境活動説明会(11月に実施予定)
- 3 工場周辺の清掃活動(全員参加)



工場体験学習の様子

環境活動に対する表彰履歴

市内で初めてESCO事業によるコージェネレーションシステムを導入し、市の環境保全に大きく貢献したとして、三島地区環境保全推進協会から環境保全功労者賞を受賞(2005年5月10日)

環境リスク訓練

油流出訓練を班ごとに月1回実施



地域交流活動・その他

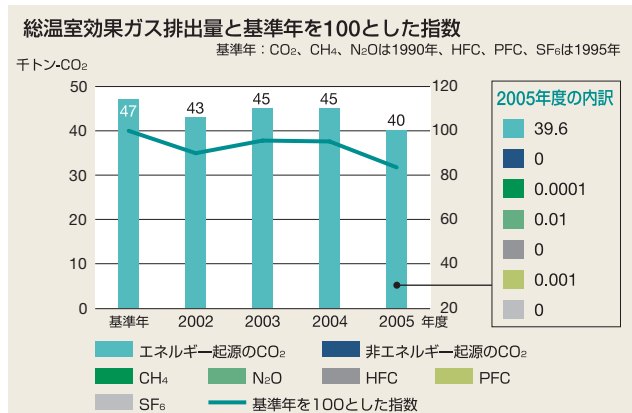
- 毎年1回、自治会との工場説明会を実施し、工場見学や安全、環境に対する取り組みを説明するとともに意見交換などを行っています。今年は12名をお招きしました。
- 省エネ活動の一環として工場独自の節電ポスターを制作し、従業員の意識向上のために活用しています。また、来場者の方々にも工場内での省エネ活動への協力をお願いしています。



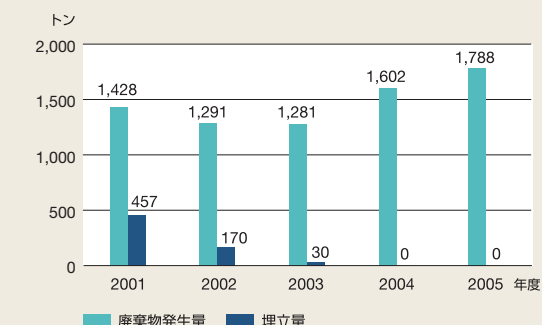
工場説明会



独自に制作した省エネポスター



廃棄物発生量と埋立量



新城工場

工場長：水本 康博

生産品目：乗用車用、LT用タイヤ

敷地面積：306,000m²

従業員数：811人

所在地：〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷1番地
TEL. 0536 (22) 2251



工場長コメント

新城工場は本工場と豊川を挟んだ南工場の2つの工場からなり、主に乗用車用の高性能ラジアルタイヤを日量約42,000本生産しています。タイヤの生産に必要な原料をムダにすることなく製品化し、生産設備の稼働に必要なエネルギーを最少限にすることが工場の役割であり、環境について実行すべき最重要課題です。そうした活動によってCO₂排出量を減らし、地球温暖化の抑制に寄与できると考えます。今年末にはコージェネレーション設備が稼働する予定で、さらなるCO₂排出量の削減を図ります。

新中期経営計画「GD100」においてトップレベルの環境対応生産の達成と環境貢献商品の上市が掲げられました。その中で新城工場は、排出される産業廃棄物の極少化と100%の再資源化を図るとともに、開発部門による環境貢献商品の立上げを両立して行い、いち早く環境貢献商品の上市を目指します。また、澄み切った豊川と周辺の緑とともに共存し、地域住民の方々と共生するために、臭気、騒音、振動、油流出を起こさない事はもちろん、新城市主催の市内清掃活動をはじめとする地域行事への参加や周辺地区の総代の方や小中高校生の工場見学を積極的に実施することで、地域の方々とのコミュニケーションと理解を深めていきたいと考えます。

2006年度の主な環境活動計画

1 省エネ活動

＜ESCO事業の稼働＞

- 2006年8月にボイラー燃料転換(C重油からガス化へ)
- 2007年1月にコージェネレーションシステム稼働

＜従来型省エネ活動の促進＞

- エアー漏れ、蒸気漏れの防止
- 空転防止、間欠運転、INV化

＜工場全体の取り組み＞

- クールビズ、ウォームビズ活動
- 昼休み消灯活動
- トイレ照明間欠化
- 事務所、会議室、食堂での冷房28℃・暖房20℃設定
- 構内駐車場アイドリングストップ活動

2 製品屑・半製品屑削減の取り組み

- 品質改善の取り組み強化
- 品質コンパット活動

3 GOPレス化率向上(限りなく100%)

- プロジェクト活動の推進

環境リスク訓練

- 1 油流出防止訓練(工場北側に配置する野田川に油が流出したと想定)
 - 開催回数：10回、参加人数：延べ108名
- 2 防災訓練(駿河湾を震源とするマグニチュード8の地震が発生。新城市は震度5～6で市全域に大きな被害が発生したと想定)
 - 開催回数：新城工場3回、南工場3回



油流出防止訓練

地域交流活動・その他

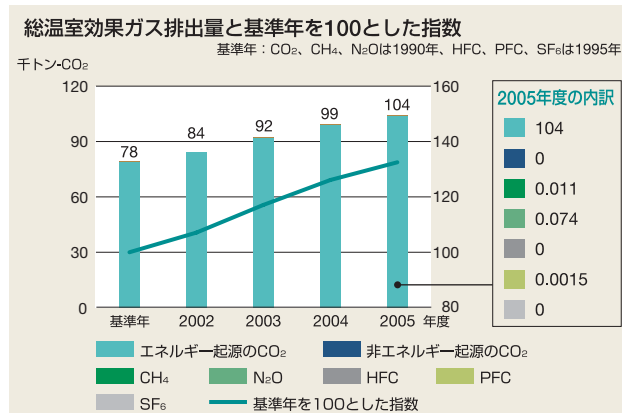
- 通学児童の安全を確保するため、朝の登校時間に従業員が工場正門前で交通安全指導を行っています。
- 周辺環境美化のための「しんしろクリーンアップ作戦」「しんしろクリーンハート・クリーンシティ作戦」に参加しています。また、定期的に工場周辺の清掃を行っています。



交通安全指導



しんしろクリーンハート・クリーンシティ作戦



廃棄物発生量と埋立量



尾道工場

工場長：宮本 正夫

生産品目：建設車両用、産業車両用タイヤ

敷地面積：193,000m²

従業員数：180人

所在地：〒722-0051 広島県尾道市東尾道20番地
TEL. 0848 (46) 4580



工場長コメント

尾道工場は大型建設車両用タイヤの専門工場です。生産するタイヤのサイズが大きいに1本のタイヤでもクズになれば産業廃棄物の発生量は大きく、それに要したエネルギーも莫大なムダとなります。従って地球環境に優しく、地域に愛される工場になるためには、徹底したクズ削減あるいは最小限のエネルギー使用を目指す必要があります、新中期経営計画「GD100」の環境貢献企業達成に向けて厳しい目標を掲げ取り組んでいます。一方、その製造過程で発生する恐れのある粉塵、騒音、水の汚染などを起さないため細心の注意を払っています。

また、地域とのコミュニケーションを図るため、恐竜公園の一般開放や小学生の工場見学の受け入れ、地域イベントへの積極的参加や地域自治会への参加も含めて様々な活動に取り組んでいます。特に桜の咲く季節には、この恐竜公園に多くの市民(親子グループ)が来訪し、お弁当を広げて楽しそうに遊んでいる光景は我々にとっても和みの世界です。可能な限り花の絶えない、周りから見て恥ずかしくない工場を目指し、子どもたちがやがて横浜ゴムで働きたいと思えるような工場であり続けたいと思います。尾道工場は、需要量の増大に対応するため、現在、第2プラントの建設工事がスタートしています。この工場建設では省エネルギー構造を取り入れています。さらに産廃物(クズ)もほとんど発生しない、環境に良い工場を目指します。周辺の方々に対して堂々と公開できる工場づくりを目標に日々活動に取り組んでいきます。

2006年度の主な環境活動計画

- 1 産業廃棄物の発生量削減
- 2 有機溶剤使用量の削減
- 3 省エネルギーによる電力、燃料の原単位の改善。炭酸ガス排出量の削減

環境リスク訓練

- 1 製造工程(精練)の緊急事態発生時の処置訓練
 - 参加人数：12人
- 2 製造工程(設備)の緊急事態発生時の処置訓練
 - 参加人数：6人

地域交流活動・その他

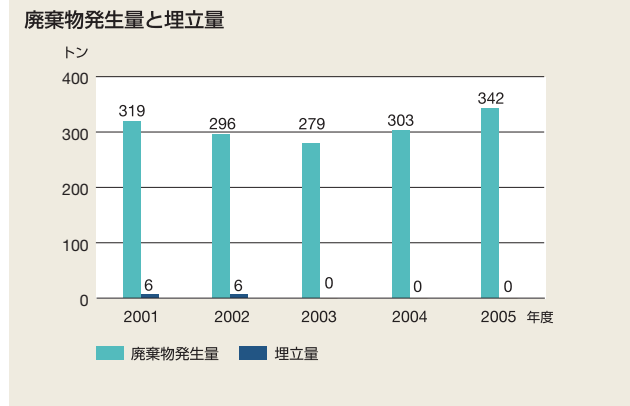
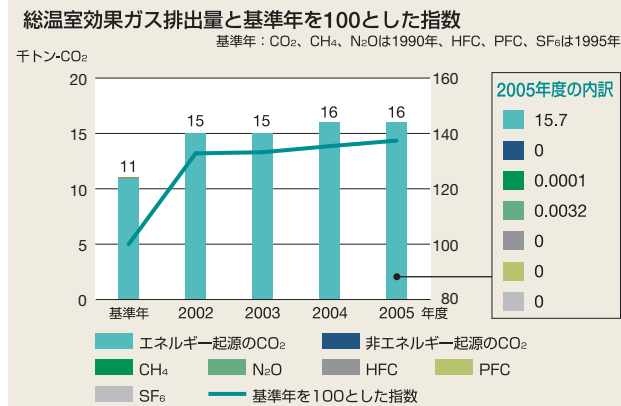
- タイヤで作った恐竜を展示した工場敷地内の「恐竜公園」を一般開放しています。日頃から子ども連れをはじめ多くの方々が訪れ、昨年は1,716名が来場しました。また、野球グラウンドは595名が利用しました。
- 現在、建設中の第2プラントはあらゆる面(成形システム、部材流し、省エネ)において新工法を構想した新工場を目指しています。



恐竜公園



第2プラント完成イメージ



茨城工場

工場長：矢萩 雅一

生産品目： 高圧ホース、シーリング材

敷地面積： 152,000m²

従業員数： 215人

所在地： 〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西1番地
TEL. 0299 (46) 1111



工場長コメント

横浜ゴムは2017年に創業100周年を迎えます。この100周年に向けて、新中期経営計画「GD100」が公表されました。この中で「トップレベルの環境貢献企業を目指す」との指針が示されました。茨城工場は10項目の環境方針に基づき、8項目の環境目的、14項目の環境目標を計画し、それに基づいた活動を行っています。大気管理、排水管理、騒音管理などの環境問題に対する対策は当然ながら、産業廃棄物の100%再資源化（2001年ゼロエミッション達成）、グリーン購入、ペーパーレス化の推進など資源保護のための活動や生産効率の向上、ならびに高効率機器の採用などによる省エネ活動にも力を注いでいます。昨年は代替技術の開発により、長年の課題であった鉛被覆工法を全廃し、環境負荷を大きく低減することができました。こうした生産技術の革新を進めることで、生産効率を高める活動を継続的に進めることこそ地球温暖化や環境破壊の抑制になると考えます。

また、当工場では工場敷地内グラウンドの美野里町への提供（年間約300名が利用）、企業連絡会への参画、駅伝大会への参加などを通して地域社会とのコミュニケーションの向上に努め、地域との共生、地域に愛される工場を目指した活動も進めています。今後も、世界一生産効率の高い工場を目指す中で、環境マネジメントシステムをさらに強化し、法規制、協定などを遵守し、環境汚染の予防と継続的改善を全従業員参加で進めていきます。

2006年度の主な環境活動計画

1 環境負荷低減活動

代替製法の確立によってホース生産における鉛設備を付帯設備なども含め全廃（右下写真）。

2 CO₂発生量の削減活動

生産技術課を主体に「省エネタスク・タスク」活動に取り組んでおり、毎月2回の会合でPDCAに準拠しその改善を遂行しています。2005年度は目標値を上回る効果を達成しました。

3 有機溶剤の排出量削減活動

工場で行う取り組みと他部門との連携が必要な取り組みとに分け、工場の活動ではMEKの再生装置を活用し一部再生使用しました（継続中）。他部門との連携活動では、ホース表面洗浄のスワプレス化、セメントレス化について活動しています。

環境活動に対する表彰履歴

- 1 関東甲信越地区危険物安全協会連合の会長から「諸設備の充実と安全功労賞」を受賞（2006年6月）
- 2 茨城県電力協会から電力協会運営及び電気使用合理化に尽力したとして当工場従業員が功労賞を受賞（2005年6月）



環境リスク訓練

有機溶剤運搬中における転倒漏出の想定訓練

- 参加人数：ホース製造課5名

地域交流活動・その他

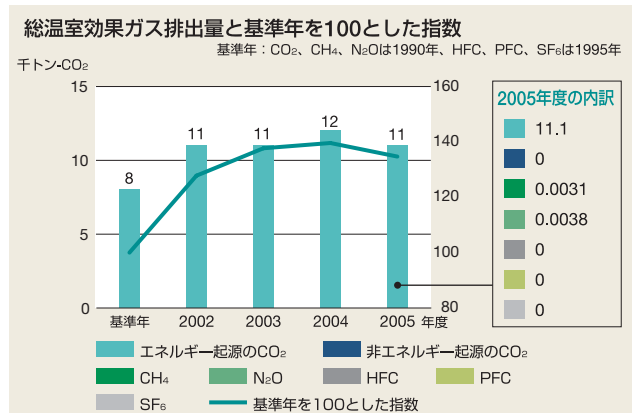
毎年2月に開催される美野里町の駅伝大会に参加しています。茨城工場からは参加選手のほか、役員や応援者が多く駆けつけ地域行事の活性化に協力しています。



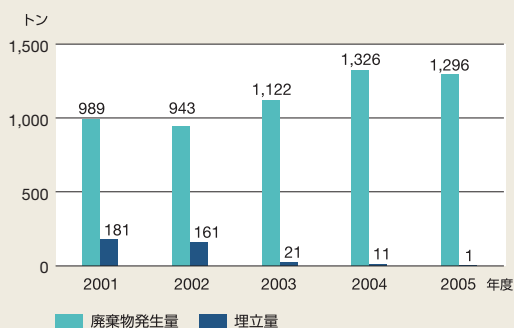
美野里町民駅伝競走大会



撤去前の鉛設備（上）
と撤去後（右）



廃棄物発生量と埋立量



平塚東工場

工場長：伊澤 俊夫

生産品目： 空調機器用カップリング、油圧ホース金具、油圧ホースアッセンブリー
敷地面積： 17,000m²
従業員数： 240人
所在地： 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4丁目6番40号
TEL. 0463 (23) 0331



工場長コメント

平塚東工場はホース配管事業部の本社工場として、新商品の開発・生産・供給を担当する基幹事業所の位置付けにあり、本社機構である技術部・生産管理部が併設されています。技術部では、お客様のニーズにお応えする新商品を開発する中で、商品の機能・性能の追求だけではなく、ELV指令やRoHS指令などの要求に対応するとともに、数万点にも及び製品、部品に含まれる環境負荷物質のデータベース化を進め、即応体制が取れるように取り組んでいます。また、原材料・部品の調達から製品の出荷までのサプライチェーンの管理を担当する生産管理部では、物流に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。当工場は、事業部内の茨城工場や長野工場で生産されたホース・金具を組み立てる最終工程であり、工場操業のエネルギーの多くは電気を使用しているため、環境負荷は少ない工場です。産業廃棄物は年間200トン強、PRTR物質も年間1トン未満です。

地球温暖化防止対策としては、総CO₂換算排出量は少ないのですが、一部金属洗浄に使用されているパーフルオロヘキサンが全体の70%を占めていました。この代替の改善に取り組み、この上期中には、20分の1に改善される見通しです。工場は、平塚の工業地区内にありますが、毎月1回工場周辺の道路、近辺地域のゴミ置き場の清掃を行っています。また、毎年5月には湘南の美しい海を守るべく、海のシーズンを前にして従業員の家族とともにボランティアで湘南海岸の清掃美化活動を行っています。今後は横浜ゴムの新中期経営計画「GD100」の基本方針である「トップレベルの環境貢献企業」活動を推進し、働く職場環境のさらなる改善を進めます。また、地域の方々とのコミュニケーションをさらに強化するために、工場の開放についても検討し、地域に認められる工場になるように全員参加で進めていきます。

2006年度の主な環境活動計画

- 1 産業廃棄物の削減
 - 前年実績比で5%削減
- 2 再資源化(リサイクル化)率の推進
 - 95%以上を達成
- 3 省エネ対策
 - 前年原単位実績比で1%削減

環境リスク訓練

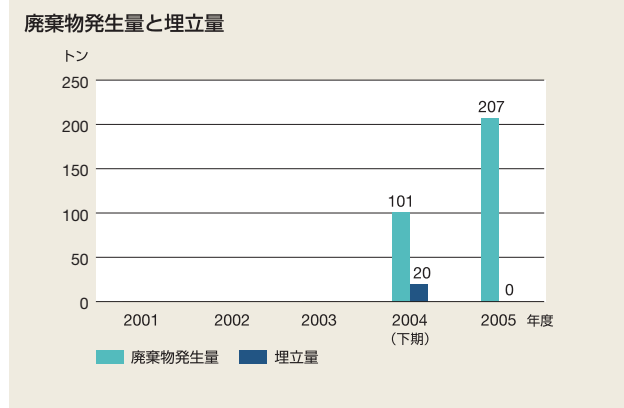
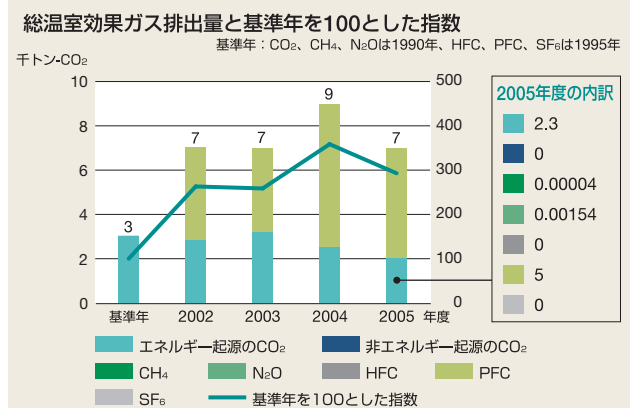
- 1 クロム酸の床面へのこぼれ対応訓練：参加人数5名
- 2 ジクロルメタンの床面へのこぼれ対応訓練：参加人数5名
- 3 廃油置き場からの油流出訓練：参加人数7名
- 4 排水処理施設の排水基準値オーバー対応訓練：参加人数7名



油流出訓練

地域交流活動・その他

毎年1回、湘南海岸の清掃を行っています。今年は117名が参加しました。



長野工場

工場長：石井 祥夫

生産品目：油圧ホース金具、油圧ホースアッセンブリー
敷地面積：22,000m²
従業員数：140人
所在地：〒399-3102 長野県下伊那郡高森町吉田548番地
TEL. 0265 (35)3211



工場長コメント

長野工場は、美しく豊かな自然の恵みに抱かれた信州の天竜川沿いに位置しています。このような自然に恵まれた地であって、金属加工という自然と相反する生産活動をいかに自然と調和し、環境対応生産をしていくかが大きな課題です。そのためには工場で排出する産業廃棄物を極少化し、100%再資源化していくことが重要だと考えています。特に、当工場の特徴である金属屑(切粉)についてはすべてリサイクルしていますが、さらにリデュースすることが課題です。これについては商品デザイン、製法の見直しが必要なため、新中期経営計画「GD100」に照らし合わせて取り組んでいきたいと考えています。また、地域への貢献や共生の取り組みとして、毎年開催の天竜川環境ピクニックへの参加や、市田駅と吉田区民会館への花プランターの設置と維持活動を展開しています。地元の皆さんはもちろん、遠方からお越しになる方々の心が少しでも和めばと思っています。さらに環境負荷低減活動として、今年3月に工場照明器具の省エネ化を図り、従来品を30%省エネタイプに変更したことで工場総排出CO₂量を2.4%削減(原油換算)しました。

また、当工場では毎年「家族ふれあい祭り」と称して従業員の家族や近隣住民の方々に工場見学やイベントを楽しんでもらっており、今年は約230名が来場されました。今年から環境への意識を高めて頂くための新企画として、当社のエコタイヤをはじめ、近隣企業の協賛で家庭用ソーラーパネルや電磁調理器など環境に優しい商品を展示したエココーナーを設置しました。来年はより多くの方々に関心を持ってもらえるようなイベントにしたいと思っています。これからも「信州の美しく豊かな自然の恵みを大切に!」をスローガンに、地域との共生、地球環境に優しい工場を目指し取り組んでいきます。

2006年度の主な環境活動計画

- 「家族ふれあい祭り」を通じての環境保護の提案
 - 毎年開催の「家族ふれあい祭り」に今年初めて「エココーナー」を設置。オール電化製品や省エネランプの実演、エコクイズなどを実施し環境保護の大切さを訴求しました。
- 省エネタイプ蛍光灯への交換
 - 1カ月で約18,400KWHの省エネとなりCO₂換算では約7.17トン进行削減。エネルギー起源CO₂に対する削減割合は約2.6%に相当します。
- コンプレッサーの廃熱利用による暖房費削減

環境活動に対する表彰履歴

毎年の献血活動に対して飯田下伊那地区献血推進協議会より「会長賞」を受賞(2005年5月)

環境リスク訓練

- 廃油など油運搬時の流出訓練：参加人数5名
- 消火栓放水訓練：参加人数11名
- 第1工場で切削油・潤滑油充填口の接続不完全による油漏れ対応訓練：参加人数21名
- 灯油地下タンク充填口の接続不完全による油漏れ対応訓練：参加人数21名
- 地震発生時の灯油地下タンク点検対応訓練：参加人員21名



放水訓練

地域交流活動・その他

- 工場敷地内で育てたリンゴを収穫し、近隣住民や障害者施設「こぶし園」などに寄贈しています。
- 町の景観美化を目的に従業員が植えた花プランターをJR市田駅と吉田区民会館に設置し、管理しています。



りんごの収穫



花プランターの製作

